

第4回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊 みどり環境公募事業（トレッキング）

10月4日、萱野峠・森林セラピー基地で行われました。敷石掘りは今回はじめて足の水側でも行いましたが、埋もれた土砂の中から、玉川方面の石とは違った美しい敷石が顔を出しました。峠の距離3.2Kの内、4回の敷石掘りで440m余りの敷石が新たに確認されたこととなります。

同じ日の午後、みどり環境公募事業も行われ、「荒川流域と自然環境」についてのミニ講演会とセラピー基地のトレッキングを実施しました。



セラピー基地のトレッキング



萱野峠の敷石掘り

「道の駅」の案内業務が終了しました

観光協会から受託した「道の駅・よこね」の案内業務は11月9日に終わりました。5月から毎週土日に案内をしてきましたが、案内を体験したことで学んだことが多かった反面、小国町の顔とも言える道の駅のあり方にいくつかの課題も見えてきました。今後、この経験を生かして行政・観光協会などと協議しながら町づくりを進めていく必要があります。

12月21日（日）十三峠学習会あります

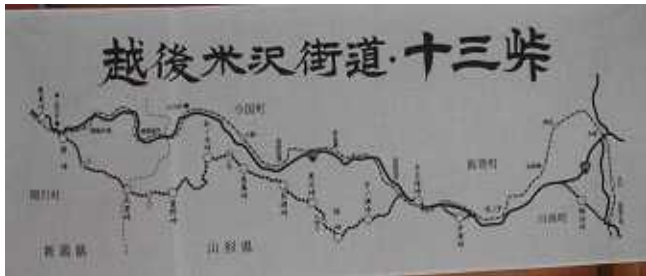
「越後米沢街道の歴史・文化・自然」をテーマとした関川村長の平田大六氏からの講演を中心として学習会を行います。夜は交流会、22日は関川村の探訪会もあります。

「おぐに写真コンテスト」

18年度まで行われてきた「白い森おぐにフォトコンテスト」が昨年からは中止になっています。応募も多く、愛好者からは惜まれていますので、復活できないか、検討中です。「和ん話ん」が目指している町づくりの一環として観光振興・誘客の増加・地域経済の活性化のためにもコンテストを開催できるように皆さんで知恵を出し合ひましょう。

手ぬぐい・ カレンダーを作りました

手ぬぐいは「和ん話ん」で、カレンダーは「十三峠交流会」で作製したものです。



9月1日に開かれた「全員集会」での発言メモ

21名の出席で開かれた集会で出された感想・意見・提起などの一部です。出席できなかった方や今後の活動の参考にお知らせします。

- ・十三峠をグリーンツーリズムに生かすことが大事。
- ・仕事をしていく中に和ん話んの考えを入れていくこと。
- ・現役のとき、町や地域のことをあまりしなかった。文化財を掘ることも大事。自分で金を出しててもやっていきたい。和ん話んのPRが必要。地域の活動と行政をつなぐことが大事。
- ・かつては自由勝手だったが、NPOになって少し硬さがある。特に打開の名案は持っていない。
- ・いろいろやっているのがすごい。自由に言えるのがいい。
- ・小国町にも、面白いこと、楽しいこと興味あることがもっと欲しい、と考えて和ん話んへ。幅が広いNPO、他のNPOのことなども参考にすればいい。手法、財政についても他の成功例などを取り入れて学んでいきたい。情報をもっと欲しい。
- ・和ん話んがいま一つ分かっていない気がする。硬くなっているので形式にこだわらず、自由にやればいい。小グループ編成もいいのでは。ボランティアもいいと思う。
- ・仕事の都合でなかなか参加できない。スタッフが大変ではないか。堅苦しくはないか。もっと柔らかくなって楽しくやりましょう。
- ・町おこしの活動がなく、もやもやしていたので和ん話んに。NPOになって硬さが出てきた。臆病になっているのでは。別の私のNPOでは2日に1回のニュース発行をし、勝手に送っている。完全なボランティアは長続きしない。気楽にやろう。
- ・女性のパワーが大きいので女性会員を増やすこと。女性が少なくやりにくい。女性が会議に出て企画にも参画できるようにすること。子育て支援も含めてアイディアはあるがなかなか企画ができない。
- ・新しいものを考えながらやりたい。産業づくりなどを進め、収益を求めることが必要。月に1回程度の定例会をやってほしい。
- ・会社以外の人と付き合えるし、夢を語り合うことができる。NPOになって「大きな団体」に変わってしまった感がある。楽しく夢を語り合える場を。曜日の夜は、定例会(サロン風に)などはどうか。
- ・会員が多くなって、まとまりにくいことはないか。月1回の定例会は疲れる。息詰まる感じもあるのでざっくばらんに飲みながらでも楽しくやればいい。
- ・自分たちの話し合いが少なく、上意下達(企画)式がなんとなく硬さを作っている。
- ・まちづくりを本気になってやろう。
- ・NPOには目的もはっきりしている。意見を出し合うことが必要。行政との連携、和ん話んのPR、何をやったら町民が喜び、楽しくなれるか。町をどうしていくかを考えたい。
- ・和ん話んの想いをしっかりと説明してほしい。金のこと大事。NPOらしくやっていきたい。
- ・NPOとは何ぞや、を改めて考えてみよう。行政と民間の間にNPOが存在する。何ができるか。金はどうするか。いろいろ制度を活用することも可能。人を動かすにはどうするか。
- ・NPOになったからには、それなりの覚悟が必要なのだ。
- ・会員を増やすことも検討していい。